

特集 宇宙

～星空の彼方に何が見えますか？

Lib.

京都産業大学図書館報
v.36, no.1 (Apr.1, 2009)

<貴重資料探訪>コペルニクス『天球の回転について』

8-9

<海外の図書館紹介>

10-11

<Lib. なび>

12-13

図書・雑誌・映画・音楽

<情報の探し方>

14

<教員文庫寄贈一覧>

15

<Information>

15

<司書のお仕事>

16

自著を語る

『望遠鏡以前の天文学：古代からケプラーまで』

山本 啓二

『北方ヨーロッパの商業と経済 1550-1815年』

玉木 俊明

『言葉と認知のメカニズム』

平塚 徹

『糺の森を探検しよう！（糺の森自然観察図鑑）』

勝矢 淳雄

宇宙

星空の彼方に何が見えますか？

みなさんは普段星を見ることはありますか？

ずっと昔から人間は夜空を見上げ、その美しさに心を打たれたり、海の上の航海や農業の季節の目安にしてきました。メソポタミア、ギリシア、中国、中南米など多くの民族が自分たちの祖先を空に輝く星に結び付けてきたことも事実です。身近なところでは星占いは今でも盛んに行われています。何が私たちの興味を星空へと向かわせるのでしょうか。

今年、京都産業大学には天文台が完成します。本学の創設者・荒木俊馬先生が天文学者であったことは皆さんご承知のとおりです。また、今年是世界天文年でもあります。

この機会に宇宙について知ることで日常の時間や空間の外にあるものに思いを馳せてみませんか？

世 界天文年とは？

“2009年はイタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を夜空に向け、宇宙への扉を開いた1609年から、400年の節目の年です。国際連合、ユネスコ（国連教育科学文化機関）、国際天文学連合は、この2009年を「世界天文年（International Year of Astronomy：略称 IYA）」と決めました。”

“世界中の人々が夜空を見上げ、宇宙の中の地球や人間の存在に思いを馳せ、自分なりの発見をしてもらうこと。それが世界天文年の目的です。”

137の国と地域が参加を表明しています。（2009年2月23日現在）

【世界天文年2009 ホームページ http://www.astronomy2009.jp/ja/about_iya/about_iya.html より引用】



✦ 世界中で宇宙を観ようよ 100時間（原題:100 Hours of Astronomy）：2009年4月2～5日

これは世界天文年2009の企画の中でも、国際的な協力体制で進められる「世界企画」のうちの「主要企画」の一つです。月と土星が見やすい4日間、街角観望会が開かれたり、天文台の観測現場をWEB中継など様々な企画が世界中で予定されています。

日本ではちょうどお花見の季節。夜桜とともに宇宙も観てみませんか。

◆ めざせ 1000 万人！みんなで星を見よう！

世界天文年 2009 日本委員会が主催するイベントの一つ。

望遠鏡で天体を見たなどだけではなく、帰り道に見上げた星空や天文現象、プラネタリウムで見た星まで、とにかく星を見たなら報告するとカウントされ、2009 年にどれだけの人が星を見たのかというとても壮大な企画です。

詳しくは、【めざせ 1000 万人！みんなで星を見よう！ホームページ <http://star2009.jp>】をご覧ください。

京都で星を見る

京都市青少年科学センター <http://www.edu.city.kyoto.jp/science/>

プラネタリウム観覧ができる他、年 7 回市民天体観察会（京都市青少年科学センター天文台の大型望遠鏡や双眼鏡などを使って夜間に天体を観望するイベント）が開催されています。

黄華堂 <http://www.oukado.org/>

“子どもたちに本物の星空を！”を合言葉に天体観望会や天文教室を開いている天文ボランティア。新風館（京都市営地下鉄烏丸御池駅⑤出口）でもイベントが開催されています。

エル・マール まいづる <http://www.kepco.co.jp/pr/elmar/>

日本初の海上プラネタリウム!!世界天文年 2009 日本委員会公認イベント「日食を観察しよう！」も予定されています。

日

食が観察できます!!

世界天文年のイベントの中でも、日本ではとりわけ大きな話題となっているのが日食。2009 年 7 月 22 日に日本の陸地では 46 年ぶりに見られます。

残念ながら皆既日食が見られるのは、奄美大島北部や屋久島などの地域ですが、京都でも部分日食は見られます。（右表参照）

古来、日食は世界各地で宗教的な出来事としてもとらえられてきました。

一度日食を見て、その神秘的なコロナ（太陽表面の上空に存在する高温のプラズマ）の魅力にふれるとエクリプス（日食）・ハンターとして世界中をめぐるようになる人も多いそうです。この夏、あなたもその目で日食を見てみましょう！

【注意点】日食を見るときは直接見ずに、観測用の「日食メガネ」などを使用して目を痛めないようにしましょう。特別な道具がなくてもピンホールカメラの原理で木漏れ日に投影される欠けた太陽の像を見ることもできるそうです。

食の始め	09 時 47 分 40 秒
食の最大	11 時 05 分 52 秒
最大食分	0.809
食の終わり	12 時 25 分 21 秒



『最新藤井旭の天体観測教室』

藤井旭著

日食観測のページには、今年日本で見られる皆既日食の説明や、日食の観測方法についての説明もあります。

星空をみる

回る地球からサギタリウスを探る

過去から現代の天文学者たち

プトレマイオス

2世紀前半に活躍したギリシアの天文学者で、天動説の完成者です。著書『アルマゲスト』に記したプトレマイオスの天動説（プトレマイオス体系）はルネサンスまで西洋の宇宙観を支配しました。



イスラムの天文学者たち

イスラム社会では断食月ラマダンがいつから始まるかが重要でした。月の動きを正確に捉えるため、天文学が盛んに研究され、プトレマイオス体系が改良されました。天文学に関する知識はアラビア語からラテン語に翻訳され、西ヨーロッパへ紹介されました。

ニコライ・コペルニクス（1473～1543）

ポーランドの聖職者であり、天文学者で地動説の創設者です。フラウエンブルクの寺院の望星台で天体観測に励みました。観測精度は十分ではありませんでしたが、天体位置の予測に関して、地動説による方が天動説によるものよりは優れていることを確信しました。彼の主著『天球の回転について』は、完成からだいぶ時が経った死の直前に出版されたといわれます。なお、地球が自転していることが実証されたのは、『天球の回転について』から300年以上後の1851年「フーコーの振り子」によってです。



ガリレオ・ガリレイ（1564～1642）

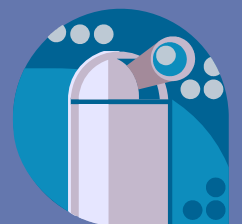
イタリアの物理学者、天文学者で、近代科学の創始者の一人です。

1608年ごろオランダの眼鏡職人によって望遠鏡が発明されたことを聞き、1609年に自ら作成した望遠鏡を宇宙へ向けました。最初は月を観測し、その後太陽や太陽系の惑星なども観測していきました。天の川が無数の星の集合であることも発見しました。望遠鏡による数々の発見を『星界の報告』（1610年出版、邦訳は岩波文庫）にまとめました。

1632年に『世界の二大体系対話』（いわゆる『天文対話』）を出版しました。これは一方的に地動説を主張するものではありませんでした。しかし翌年、宗教裁判にかけられ有罪となりました。ローマ・カトリック教会において有罪判決を見直す調査が行われ、判決が誤りであることが認められたのは1992年のことでした。

荒木俊馬（1987～1978）

本学の創設者荒木俊馬先生も、高名な天文学者でした。荒木先生について「ヨミダス歴史館」(*)で検索すると、1937年7月22日の朝刊に「天体を円塔に映す」という記事があります。荒木先生が当日午後7時30分からラジオ中継で、大阪四ツ橋の電気科学館にあった当時東洋最大のプラネタリウムを操作しながら星の運行などについてお話しするという内容でした。どんなお話だったのか興味深いですね。



※ヨミダス歴史館…読売新聞のデータベース。キーワードで記事を検索できる。
1874年の創刊から紙面イメージを閲覧可能。



「サギタリウス」

本学の学章である「サギタリウス」の星座を取りあげます。教職員のみなさんにはなじみ深いとおもうのですが、学外一般の人々には「サギタリウス」というよりも「いて（射手）座」といったほうがなじみ深く、親しみやすい名称かもしれません。

星座の個々の名称に疎くても「天の川」といえば、どなたでもご存知でしょう。その天の川が一段と太く、あかるく輝いて地平線に注ぎ込んでいる辺りに「いて（射手）座」があります。夏の「天の川」は、広大無辺な宇宙というものを彷彿とさせるような、人間の生きている存在そのものが問われるような、そのような不思議なロマンに誘われます。

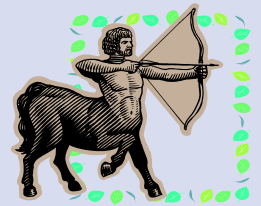
ナゾの庭石

かつては、中央図書館を取り囲むような配置で、9つのギリシア文字による庭石が配置されていました。写真（コラージュ）は、そのうちの一部分です。



「いて（射手）座」の概要

学名：Sagittarius（略名：Sgr）
中央位置：赤経 19h03m 赤緯 -28.5°
20時南中：9月2日（高度 26°）
肉眼星数（5.5等）：65個
設定者：プトレマイオス



サギタリウスに関する神話・お話・・・



いて座の馬人ケンタウロス族のケイロン

ギリシア神話に登場する「ケイロン」は時の神クロノスを父にピリュラを母に生まれました。乱暴者ケンタウロス族の一人ではありますが、賢者とされ、ギリシアの英雄たちに教育をほどこしましたが、教え子ヘルクレスの放った矢がケイロンにつき刺さり、息を引き取りました。大神ゼウスがケイロンを惜しみその姿をいて座として星座にあげたといわれています。



南斗六星

6個の星が「ひしゃくの形」に並んでいる南斗六星。

北斗は死を、南斗は生をつかさどる神とされているそうです。中国の古い言い伝えでは、人が生まれると北斗の仙人と南斗の仙人が相談してその人の寿命を決めるという伝説があります。占いの名人管輅かんろに寿命があとわずかであると伝えられた男性が、碁に興じる両仙人に酒や肉を提供し、寿命を90まで延ばしてもらったというお話が伝えられています。



みぼし・舵星

日本では、弓矢の下半分の星四つの台形の形を農具の「箕み」の形にみたり、南斗六星全体を和船の「舵」にみたりしていたようです。

参考文献

原惠著『星座の神話』改訂版、恒星社、1982.

沼澤茂美、脇屋奈々代著『星座ガイドブック』新版、誠文堂新光社、2005.

藤井旭著『星座大全：夏の星座』作品社、2003.

渡部潤一著『ガリレオがひらいた宇宙のとびら』旬報社、2008.

宇宙にまつわる図書館資料

ちょっと知りたい
初級編

天文学



『星と宇宙を
知りつくす本』
小野夏子
和紗泰信著

『星のきほん』

駒井仁南子著
ほむのんイラスト



創設者・荒木俊馬先生

『大宇宙の旅』

荒木俊馬著

本の帯には、松本零士先生のイラストと「ホーキング博士に挫折した方へ」の文字が…。



シーズン6には
ホーキング博士
も出演！



『新スタートレック』

(第1話 - 第12話を所蔵)

レーザーディスク 1987年作

『銀河鉄道999』

：ガ

りん・た

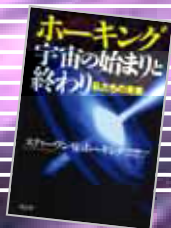
松本零士

ビデオカ



『ホーキング宇宙の始まりと 終わり：私たちの未来』

スティーヴン・W.ホーキング著
向井国昭監訳
倉田真木訳



『西洋天文学史』

荒木俊馬著

西洋天文学の歴史がこの一冊で分かる！
コペルニクスやケプラー、ガリレオ、ニュートンといった学者たちの肖像も多数掲載されています。



もっと知りたい
中・上級編



今回の特集はいかがでしたか? 「宇宙」は果てしなく広がり、学術的にもまだまだ未知の部分が残されています。皆さんにとっては、図書館にも未知の世界が広がっているかもしれませんね。色々なアプローチの仕方では情報の宇宙を旅してみませんか?

映像で見る宇宙の旅

『コンタクト』

ロバート・ゼメキス監督
 カール・セーガン原作
 レーザーディスク
 1997年作



原作者はNASAとも関わりのあった、アメリカの天文学者です。

宇宙飛行士に憧れて...

宇宙飛行士を目指すなら!

『宇宙飛行士になるには』
 宇宙開発事業団編

『宇宙飛行士になりたい』
 : 宇宙開発の歴史と未来
 関口千香編著



『アポロ13』

ロン・ハワード監督
 ジム・ラベル
 ジェフリー・クルーガー原作
 DVD 1993年作



『宇宙デジタル図鑑』
 (Vol.1-12 所載)
 DVD NHK 2000年

『あの瞬間(とき) ぼくらは宇宙に一番近かった』
 フォーカス・ジェム
 ジョー・ライデン著
 武者主編

特殊学級の生徒たちがNASAの教育プログラム「スペースキャンプ」に挑戦する、感動の実話。



コペルニクス『天球の回転について』

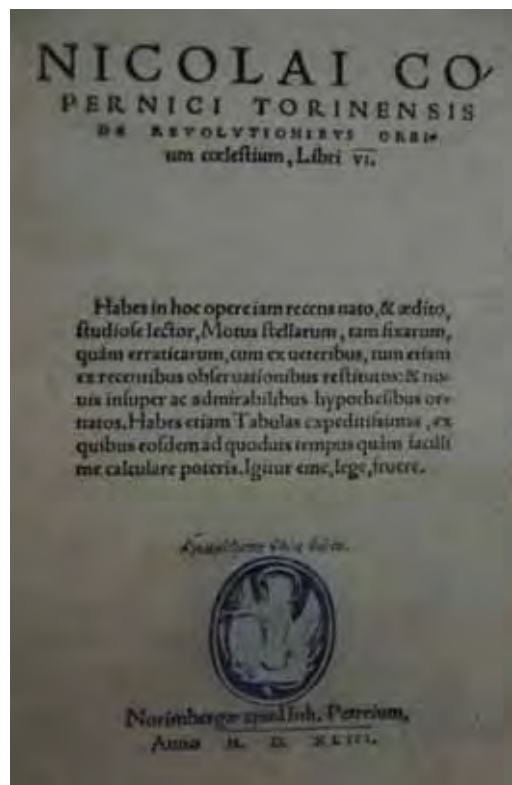
矢野 道雄

記憶は定かでないが、本学の中央図書館が完成したのが1987年10月であるから、それ以前のことだと思う。ハーバード大学スミソニアン天文台の教授であったオーウェン・ギンガリッチさんから、本学が所蔵するコペルニクスの『天球の回転について』の初版本を調査してほしいという依頼を受けた。当時は貴重書の中でもとくに貴重なものは学長室の陳列ケースの中に収められていた。わたしは柏祐賢学長の許可を得て、1ページずつ書き込みがないかどうかチェックし、製本状態とともにギンガリッチさんに報告を送った。

最近翻訳されたギンガリッチさんの『誰も読まなかったコペルニクス』(早川書房)には、世界中に現存する初版本276冊と第2版325冊の所在地がリストアップされている。この本の元になったのは2002年に出版された総合調査目録(An Annotated Census of Copernicus' De Revolutionibus)である。これにより、日本では本学のほかに、明星大学、いわき明星大学、広島経済大学、金沢工業大学、近畿大学の図書館が初版本を所蔵していることがわかる。本学の初版本には書き込みが全くないので「誰も読まなかった」1冊だったといえるかも知れない。なおギンガリッチさんの見積りでは、初版の発行部数はおよそ500部だったらしい。

しかしながら、実際は「誰も読まなかった」わけではなく、ギンガリッチさんが初版本と第2版の書き込みを徹底的に調査した結果明らかになったのは、この本がごく少数ではあるがきわめてすぐれた天文学者たちに読まれていたということである。なかでもコペルニクスの太陽中心説を修正したティコ・ブラーエの書き込みや、ブラーエの精度の高い観測に基づいて火星の研究を行うことによって楕円軌道を

発見したケプラーの書き込みなどは重要な意味をもっている。ケプラーの先生であるメストリンが所有していた1冊には50年にわたる膨大な書き込みが残されているという。またケプラーが所有していた初版本は複製され、わたしも手に入れることができたが、そこにはケプラーの前の所有者がギリシア語で書き込んだ「楕円」という文字が見られる。



『天球の回転について』タイトルページ

このように限られた数の『天球の回転について』の初版本と第2版は少数の熱心な読者たちに読み継がれていった。これらの人々によって近代天文学の礎が築かれたのである。

『天球の回転について』がなぜそれほど重要なのかというと、この書物こそ「コペルニクス革命」や「コペルニクスの転回」という言葉からもわかるように、科学の歴史のなかでも際立って大きな影響をもたらしたからである。

岩波文庫版では『天体の回転について』というタイトルになっているが、正確には「天球」であり、

私の畏友高橋憲一さん（九州大学）のすぐれた研究書は『コペルニクス・天球回転論』となっている。

「天球」という考え方は、大地が球形であることを知った古代ギリシア人たちが、「地球」のアナロジー（類推）として思いついたものであるが、アリストテレスによって採用され、ギリシアの宇宙論の中心になった。

紀元後2世紀中ごろ古代天文学を体系化したアレクサンドリアのプトレマイオスによれば、宇宙の中心に地球が静止しており、そのまわりを月、水星、金星、太陽、火星、木星、土星を載せる天球がとりまいて回転している。いちばん外側には恒星をちりばめた天球がある。

しかし実際の惑星は見かけのうへはきわめて不規則な運動をする。これを一様な円運動の組み合わせによって幾何学的に説明するというのが古代天文学者の課題になった。つまり、観測に合致するような幾何学的モデルを構築する必要があったのである。言い換えれば幾何学によって「現象を救う」ことが要請されたのだ。プトレマイオスの名著『アルmageスト』じたい、ギリシア語原題は『数学的综合』であった。こうして西洋天文学は応用幾何学ともいべきものになった。このような伝統がおよそ1400年後のコペルニクスに至るまで続いたことは、『天球の回転について』の扉に、「幾何学ノ素養ナキ者、入ルベカラズ」（高橋訳）とギリシア語で書かれていることからもうかがうことができる。この言葉はプラトンの学校（アカデメイア）の扉に書かれていたという伝説がある。

プトレマイオスの体系は必ずしも完全に「現象を救う」ものではなかった。また惑星の軌道円の中心とは別に等速円運動の中心を認めるというような仮説は受け入れがたいものであった。そこで彼の後多くの天文学者たちが改良を試みた。とくに目立つのは13世紀から14世紀にかけてのイスラーム世界の天文学者たちである。その一人であるナスィール・アッ＝ディーン・アッ＝トゥースィーは円運動の組み合わせで直線運動を生み出すような工夫をした（いわゆる「トゥースィー対円」）。『天球の回転について』にはこれと同じ工夫が図とともに用いられて

いるので、コペルニクスはイスラーム天文学の情報を何らかの方法で入手していたのであろうというのが今では定説になっている。

コペルニクスはこのような伝統の上に立ちながら、いやむしろ伝統の中でもがいていたからこそ、宇宙の中心に置くのは地球よりも太陽のほうがふさわしいと考えたのである。この伝統を断ち切り天文学を円運動の呪縛から開放したのがケプラーであった。そのケプラーを生んだのは精密な観測記録を残したティコ・ブラーエであったことも忘れてはならない。

ギンガリッチさんが収集した世界の図書館の『天球の回転について』の書き込みはこの書物とその背景の歴史を見事に語っている。

（やの みちお 文化学部教員）

参考文献：

高橋憲一著『コペルニクス・天球回転論』、みすず書房、1993年。
クリストファー・ウォーカー編、山本啓二・川和田晶子訳『望遠鏡以前の天文学』、恒星社厚生閣、2009年。



『天球の回転について』67葉
「トゥースィー対円」と同じ工夫の図

『天球の回転について』の複製本を2階カウンター前に展示します（2009年4月1日から5月31日まで）。

海外の図書館紹介

知的な雰囲気を感じた大学図書館は 時空を超えた別世界？

University of California, Berkeley

- ① Doe Library
- ② Thomas J. Long Business & Economics Library
- ③ C.V. Starr East Asian Library

(アメリカ合衆国)

植木 真理子

カリフォルニアは、一年を通して寒暖の気温差が少ない気候です。大学周辺には、Bart (Bay Area Rapid Transit) の駅があり、オフィス街、学生寮、住宅地などに囲まれています。私は大学から徒歩 20 分ほどの場所に滞在しています。大学までの移動はほとんど徒歩ですが、景色を楽しみながらの徒歩移動もそう悪くはありません。その道中に見る街路樹や色とりどりの植物、どこまで伸びきったのかと思わせるほどの背の高いヤシの木、通りの奥にちらりと垣間見られる海。このような情景に触れる時は、カリフォルニアの地にいるのだと実感できる楽しい瞬間です。

UC Berkeley 校は、1868 年に設立され、州立大学の中で最も古い歴史を持っています。大学のキャンパスは、1232 エーカー (約 150 万 8 千坪) もあり、日本の大学に比べると広大なキャンパスです。このようにキャンパスが広大なため、キャンパスを一周するシャトルバスが運行されているのです。

UC Berkeley 校は 1960 年代のフリースピーチ・ムーブメント以来のリベラルな校風で知られています。大学の愛称である Cal (キャル) は、建物の至る場所に張ってあるポスターや学生達が身につけている T シャツやスウェット・パーカーなど、キャンパスのあちらこちらで目にすることができます。

本大学の恒例行事として、秋と冬の時期にアメリカン・フットボールの試合が本キャンパスのグラウンドで開催されます。秋にあった Stanford 大学戦の

Big Game では、Cal や Stanford 応援部隊の大勢が集結し、試合を観戦したようです。ちょうど同じ日に、11 月末のサンクス・ギビング (感謝祭) パーティーがあり、その待ち合わせ場所に移動するためにバスを利用したのですが、Big Game による交通渋滞で 30 分以上バスが遅延した上に、目的地までの乗車時間は通常よりも 1 時間以上も余計にかかってしまいました。恐るべきアメフト人気を目の当たりにした日となりました。



さて、UC Berkeley を代表する中央図書館 Doe Library について紹介してみましょう。Doe Library は、Charles Franklin Doe 氏が 1904 年に 4 分の 1 の資産を寄贈して設立されました。一般に公開されている施設ですが、ID カードがないと書架コーナーには入れない場所もあります。ID カードを提示して中に入り地下まで降りると、謎めいた地下道があり、Moffitt Library (学部生用の図書館) の別棟につながっています。何も知らずに知り合いの先生に初めてそこを案内された時は、予想外の地下道の存在に感激したものです。このように、初の訪問者にハッとさせるような造りになっている謎めいた図書館は、中央図書館の他にもキャンパス全体にわたって各学部や研究機関ごとにもあり、定期的にライブラリー・ツアーが一般公開で実施されています。

日本から同じく客員研究員で来られた先生から聞いた話では、図書館の共用パソコンを利用していたところ、何だか変に匂うなと思いきや、いつの間にか隣のパソコンでホームレスの人が情報検索をしていたそうです。まさに図書館は名実ともに開かれた公共施設なのです。

Doe Library にはデラックスな雰囲気のあるリーディング・ルームがいくつかあります。North Reading Room は、Beaux-Arts 時代の建築様式で、とても豪華な空間です。そこでは、真剣な眼差しで本を読んだり、持参したノートパソコンで資料を作成しているなど、図書館ならではのピンと張りつめた独特な緊張感と静かな



空気が漂っていました。もう一つの Roger W. Heyns Reading Room では、学生の他に、一般市民や家族連れの見学者達がしばしの間、神聖なる空間でゆったりとくつろいでいる姿が垣間見られます。

さて、私が研究滞在している所属機関は、UC Berkeley 校の中の Haas School of Business です。Haas には4つの Institute と15の研究センターがあり、私の所属する研究機関は IMIO: Institute of Management, Innovation, & Organization です。

Haas では Dean's Speaker Series といった著名人や活躍するビジネス・パースンの講演会が定期的で開催されています。また、Haas に属する各研究機関でも毎週公開セミナーが開催され、最新のビジネス動向を聞く機会があります。アメリカを代表する



大企業やシリコンバレーの著名な企業からのゲスト講演を聞く機会は、私の最大の楽しみの一つになっています。

研究棟に隣接した教室棟には、授業教室、パソコン室、Business & Economics 図書館があります。この図書館は、1995年1月に Thomas J. Long 基金により開館されました。主に、ビジネス、経済関連の学術文献をはじめ、企業倫理、経営史、コーポレート・ファイナンス、CSR (企業の社会的責任)、起業家、ファミリー・ビジネス、ハイテク産業、イノベーション、技術革新、非営利組織といった専門のコレクションなど計15万冊の文献と160万ものマイクロフィルムなどが所蔵されています。この図書館は祝日を除いてほぼ毎日開館しています。私が利用する書籍はほぼここに揃っています。もし借りたい本が貸し出し中であれば、リクエスト申請をした後、

受け取り可能になれば、登録したメールアドレスに貸出可能な連絡が入る仕組みになっています。貸出期間は、誰かがリクエスト申請をしない限り、セメスターの終了日まで長期間借りることができます (ちなみに、UC Berkeley の授業期間は、春セメスター1月~5月、秋セメスター8月末~12月)。

最後に紹介する図書館は、C.V. Starr East Asian Library です。1947年に East Asiatic Library として設立されて以来、中国、日本、韓国、東アジア諸国の文献資料が90万冊以上所蔵されています。所蔵数でいうと全米2位に相当します。

日本の新聞・雑誌のコーナーも設置されており、本学の紀要論文『世界問題研究所紀要』も所蔵されていたのを発見し、まさか UC Berkeley でお目にかかることは予想外のことであったため、非常に驚きました。

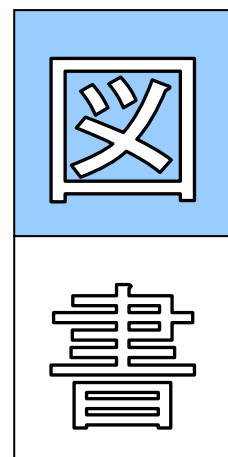
キャンパスでは、大きな本を手で抱えながら歩く学生や自転車に本を山積みして移動する学生をよく見かけます。図書館やカフェでは、学生達がじっくりと本を読んだり、ノートパソコンを打ちながらレポート課題をまとめたり、晴れている日には、日向ぼっこをしながら本を読んでくつろいでいる姿をよく見かけます。こういった学問に真摯に向き合っている姿を見ることは、とても素敵な光景です。

図書館は独特でなぜか神聖な空気を醸し出しています。これは万国共通かもしれません。また、日常生活において学生や一般市民の憩いの場としての役割も果たしています。図書館は一度足を運んでみると、時間が経つのをつい忘れてしまうものです。そこには、書籍や資料を通して新たな出会いや知見を見出したという喜びが味わえるからだと思います。

あまりにもキャンパスが広いので、私は普段研究室に隣接した Business & Economics Library を主に利用しております。この記事執筆しながら、中央図書館はじめ他の図書館での独特の雰囲気を味わうために、研究室から遠く離れたそれらの図書館に時々億劫がらずにもっと足を運んでみようかという気になりました。

皆さんもサンフランシスコに来られる機会がありましたら、ぜひ UC Berkeley 校を訪問されて一般公開のライブラリー・ツアーに参加されますことをお勧めいたします。そこでは、きっと時空を超えた知的な雰囲気の中でひととき心が癒されることでしょう。

(うえき まりこ 経営学部教員)



ブラックホールは怖くない？

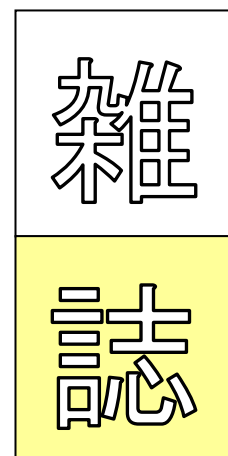
『ブラックホール』と聞いてどのようなイメージするでしょうか。『ブラック』は「黒」で「ホール」は「穴」だから、ただの「黒い穴」と思う人もいるかもしれませぬ。しかしそれは間違いです。ブラックホールは星の進化の果てにできるものです。つまり簡単に言えば、星の中の一つです。これを初めて知った時、とても驚いたことを覚えています。SFの本やアニメの中では、度々ブラックホールに入ってワープするなどと言っているから、多くの人が勘違いしてしまうのでしょうか。

今回紹介したい本は、そのブラックホールについて理論的に説明しています。「理論的に説明」と聞くと、そんなの読んでも分からない……と思うかも知れませんが、この本はイラストなどを使い分かりやすく説明し、更に、説明するための数式は別枠で表しているので、物理があまり分からない人でも、興味さえあれば十分理解できます。この本の応用編として『ブラックホールを飼いなすー』もあり、そちらでは

Lib.

神山人から

月刊タッチダウン



最近の研究成果について書かれています。2009年は世界天文年。これを機に、宇宙に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

理学研究科 博士前期課程

(平成21年3月修了)

深澤 修 (ふかさわ おさむ)

『ブラックホールは怖くない？』

・ブラックホール天文学基礎編

福江 純著 恒星社厚生閣



443.5|HUK / 3階

皆さんは *Touchdown* という雑誌をご存知だろうか。或はアメリカン・フットボールというスポーツを知っておられるだろうかと聞いた方がいいかもしれない。フットボールを知っていれば当然 *Touchdown* を目にした事があるはずだからである。

知らない人のために説明すると、フットボールはアメリカの四大スポーツの一つで、ラグビーをアメリカ式に合理化し、発展させたものである。*Touchdown* は長年にわたって日本の学生フットボールを中心に、本場のNFLやコレッジ・フットボールを取り上げ、解説してきた老舗の雑誌である。熱烈なファンにとっては毎月の出版が待たれる雑誌なのである。

私は産大のフットボール部の顧問なので5年前から図書館にお願いして購読して頂いている。雑誌のコーナーにいつも置いてあるのは是非一読をお勧めしたい。最新のフットボールの情報や作戦を丁寧に解説してくれるので、門外漢の者

でもフットボールに精通出来る事請け合いです。

産大の選手の記事や写真が掲載されることもあるので、皆さんの同級生や友達の活躍をこの雑誌で見ることが出来るのもこの雑誌を推薦する理由の一つである。

外国語学部 教員

鈴木 重信 (すずき しげのぶ)

『月刊タッチダウン』

タッチダウン株式会社



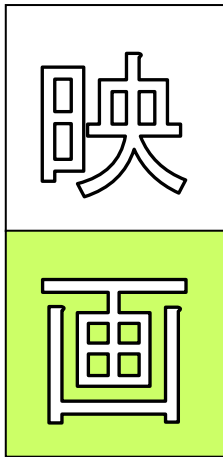
783TAC1 / 2階-雑誌

幕末の動乱を命懸けで駆け抜けた新撰組。新撰組といえば近藤、土方、沖田が有名ですが、この作品は吉村貫一郎という一人の隊士に視点をあてた物語です。この男は南部盛岡藩（現在の岩手県）を脱藩し、壬生の狼と恐れられていた新撰組の門を叩く。剣客集団の新撰組にあつて、腕は一流。だが、金に汚かった。仲間からも守銭奴と蔑まれ、それでも金のために人を斬った。その全ては故郷に残してきた愛する家族のためだった…。

しかし、幕府側についていた新撰組の状況が次第に悪くなる。そしてとうとう鳥羽伏見の戦いが勃発。敵である薩摩・長州は最新式の銃をもち、京の町に攻め込み幕府軍を圧倒する。吉村は愛する家族のため、共に戦ってきた同胞のため、「義」のため、戦いに身を投じる。

私が思うに、我々日本人がこよなく愛するサムライがこの映画にいるのではないのでしょうか。クライマックスは涙なしでは

壬生義士伝



観れません。

盛岡の景色が織り成す原風景はとても美しく、劇中に流れる心地よい音楽はジブリで有名な久石譲が担当しています。

原作は浅田次郎著作の同名の小説です。こちらもオススメなので、ぜひ読まれてみてはいかがでしょうか。

学長室 事務職員

豊田 亮太（とよだ りょうた）

滝田洋二郎監督・浅田次郎原作

2003年日本映画 (137分)



[DVD] 778.21 | TAK / 1階

なび

のオススメ!

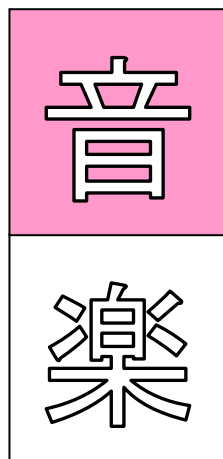
日常には音楽がたくさん溢れている。テレビをつければ音楽は流れてくるし、その時の気分に合わせて曲を聞いたりする。また実際演奏しているのを目の当たりにする。音楽は伝わってくる、どれだけその音楽を愛して、思つて演奏しているのか。それが迫力になって聞き側に鳥肌をたたせるくらい心を動かすものになる。

私は大学で部活に入つてコントラバスに触れる機会ができた。高音や中音を支える一番土台となる低音は華やかではなくてもずっしりきて大好きだ。合奏の中のコントラバスのポジションは絶対なくてはならない存在だと思う。そんな中でコントラバスのCDを借りた。『オケコン!』というCDだった。スゴイって思った! ずっと支えるだけのコントラバスだと思つたのにコントラバスだけで高音を出したり打楽器みたいな音を出したり自分の中のものを超えていてビックリした。でもやっぱりそこには仲間と奏でる『合奏』とい

うものをととても感じた。ユニークで本気で楽器を楽しんでいて、そして楽しませようとしているのがとても伝わってくる。

単独で感じているものをみんなで共通のものにして一つにする。それは簡単なことではない。学生生活で合奏をやつてそれを感じた。指揮者がいてその人が指示したところで、やっぱり一人一人が表現したいものは違ってくる。それをぶつけ合い、だんだんきれいに折り重なっていく。厳しい練習の中で思いがぶつかることもよくあつた。直前までみんなが納得して進むために話し合いをするパートがあつたり、潰れそうになつた仲間を支えたり。それを乗り越え、みんなが一つの思いを持って演奏する本番は毎回最高だった。きつとその演奏は魂がこもつた心からのもので、感動させられる演奏になるんだと思う。

オケコン!



オケコン! (約58分)
オーケストラ・ド・コントラバス
[CD] 764.4 | ORC / 1階

理学部 三年次生・マンドリン部
藤田 絢子（ふじた じゅんこ）

情報の探し方

このコーナーでは、現在導入しているデータベースの検索ツール等を紹介합니다。

契約データベース紹介

毎日Newsパック

図書館では、これまでに「開蔵Ⅱビジュアル（朝日新聞）」「日経テレコン21」「ヨミダス文書館（2009年4月ヨミダス歴史館にバージョンアップ）」とオンラインで読める国内の新聞記事データベースサービスを提供してきましたが、新たに「毎日 News パック」を契約しました。

毎日 News パックには、図書館ホームページ＞記事・データベース検索＞データベース一覧からアクセスできます。



上の図は、毎日 News パックのトップページ（「記事データベース」画面）です。毎日新聞東京本社発行の朝夕刊最終版の全文（1987年から前日の朝刊まで）をはじめ、大阪/西部/中部/北海道の各本・支社の記事、各都道府県の地方面の記事を収録しています。当日の新聞記事は、「今日の新聞」からご覧ください。

京都産業大学についての記事を検索する場合、キーワードに「京都産業大学 OR 京都産大 OR 京産大」と入力するとともに検索できます。

キーワード「益川敏英」、期間を「最近1年分」で検索を行ってみました。「検索結果は0件です。」と検索結果を表示します。一覧の表示方法を新しい/古い記事から順に表示、何件ずつ表示するか指定し、一覧表示ボタンをクリックします。検索結果一覧は次の図のようになります。



左上に検索件数が表示され、その下の一覧では1つの記事について2行で表示されます。まず見出し、2行目に、掲載日、本・支社朝夕刊、ページ、面名、写真・図、文字数が表示されています。見出しをクリックすると本文を表示します。検索画面で、「ハイライト表示あり」にチェックを入れると、本文を表示する画面でキーワードがハイライト表示されます。

「毎日 News パック」は、2008年6月2日から前日までの Mainichi Daily News や 2001年1月以降に発行された経済誌『エコノミスト』の全文記事も収録しており、広告等を除いた殆どすべての記事が検索できます。その他の機能を簡単に紹介します。

過去紙面データベース

毎日新聞の創刊号（1872（明治5）年2月21日）から1957（昭和32）年12月31日までに発行された新聞のうち、重大な事件を報じた紙面をPDFで収録しています。

ニュース速報

10～20分ごとに最新ニュースを配信しており、紙面に掲載されないニュースも含まれます。

20世紀2001大事件

明治、大正、昭和、平成と4つの時代にまたがる激動の20世紀に起きた、2001年の事件の写真と記事とが検索できます。1901年1月1日から2001年12月31日に発生した事件を収録しています。



新聞は時々刻々と変化する社会の動きをキャッチするのに欠かせない情報源です。学習に、就職活動にぜひ役立ててください。

教員文庫寄贈一覧

寄贈順 (9/1～3/31) 敬称略

平塚 徹 (外国語学部)

『プログレッシブ仏和辞典』第2版 小学館, 2008 (執筆)

玉木 俊明 (経済学部)

『北方ヨーロッパの商業と経済 : 1550-1815年』知泉書館, 2008

山本 啓二 (文化学部)

『望遠鏡以前の天文学 : 古代からケプラーまで』恒星社厚生閣, 2008 (共訳)

岸本 京子 (文化学部)

『日本におけるジョージ・エリオット書誌』大阪教育図書, 2008 (編著)

Information

図書館利用教育が始まります！⇒詳細は p. 16

春学期中も多様な図書館利用教育を実施します。

施設や設備が新しくなりました！

- ◆図書館ホールに、新たに、大画面のプレゼン設備が設置しました。ゼミの発表や学会などにもご利用いただけます。
- ◆車椅子用の閲覧机を、2階・3階に1台ずつ設置しました。

授業との連携が進んでいます！

- ◆「本学教員論文コーナー」を、雑誌コーナー横に新たに設けます。本学教員の研究業績等を広く学内にお知らせし、大学院生の研究を支援します。本学大学院への進学を希望している人にも役立ちます。
- ◆「日本語表現・小論文」関連資料を3階「資格・就職コーナー」に集めました。人間科学教育科目「日本語表現」の先生方の推薦図書です。1年生は必見です！
- ◆英語クラスの指定図書が1～10のレベルに分かれて並んでいます。ひとつずつステップアップしてください。最終コースには、長編小説や絵本なども用意されています。

（案内）「ガリレオ展

～望遠鏡から始まる宇宙の世界～

- 期間：4月1日（水）～5月30日（土）
- 会場：図書館1階パソコン室展示スペース
および2階メインカウンター前

**（案内）「あなたの春にプラスα
～サクラ・シネマ・ライブラリー～」
映画上映会**

- 期間：4月7日（火）～10日（金）
- 会場：図書館ホール
- 日時、タイトル等はPOST、学内掲示板、館内掲示でご確認ください。

（予告）「第5回図書館書評大賞」原稿募集！

応募資格は学部学生のみ、書評対象図書は本学図書館の所蔵図書。応募期間は、6月1日（月）～9月30日（水）。応募要領等の詳細は、図書館ホームページ、POST、館内掲示で発表します。

新規導入データベース紹介

詳細は図書館ホームページをご覧ください。

- ◆雑誌記事索引集成データベース：明治初期から現在までの全国誌から地方で発行された雑誌の記事を検索できる。
- ◆JapanKnowledge+：20以上のコンテンツを収録する総合レファレンスデータベース。別のコンテンツだった日国オンライン（日本国語大辞典）と字通も統合し、一括検索が可能。
- ◆ヨミダス歴史館：従来のヨミダス文書館に加えて、1874～1989年の過去紙面を検索・閲覧できる。広告に絞った検索も可能。
- ◆毎日 News パック：毎日新聞の1987年1月以降の前日の朝刊まで検索可能。当日分は「今日の新聞」で確認できる。⇒詳細は p. 14
- ◆House of Commons Parliamentary Papers：19世紀、20世紀の英国下院議会文書を収録。英国、植民地および周辺諸国の歴史、社会、政治、経済、外交政策を研究する上で、必要不可欠な資料。
- ◆Westlaw International：米国・英国・EU法関係資料を収録。判例、法令、行政関係資料やニュース、ビジネス情報も収録。
- ◆ScienceDirect：経営分野のバックナンバー（創刊から1994年発行分）などを追加。
- ◆SpringerLink：Lecture Notes in Computer Scienceの1997年から2008年発行分を追加。
- ◆JSTOR Arts & Science VI：人文科学系を中心に経済学・教育・言語学・政治学・地域研究分野などの120誌（2010年予定）を追加。

編集後記

今号の特集では「宇宙」について取り上げました。街中では夜空を眺めてもあまり星が見えないかもしれません。幸いにも(?)本学は比較的よい環境です。授業やクラブで暗くなるまで残ったときに夜空を見上げてみてはいかがでしょうか。
表紙・カットにご協力いただいた漫画部の井上寛之さん、ありがとうございました。

司書のお仕事

その5



レファレンス・サービス



図書館の役割は、利用者が求める資料や情報を提供することであり、そのもつとも柱となるサービスとして、資料の貸出とレファレンスサービスがある。

レファレンスサービスとは、利用者の質問や調査依頼を受けて回答をする仕事であり、利用者との密接に接して、必要な情報を入手できるように援助する活動である。

本学の場合で言えば、各フロアのレファレンスカウンターで1〜2名の図書館員が、事項調査(文字や言葉、事物・事象、歴史的事件や出来事、地名・人名、統計データなどに関する情報)や文献調査(図書や雑誌、雑誌・新聞記事などの文献探索や所在調査)の回答や、図書館の利用案内、辞典・事典や記事索引などの参



考図書・データベースの利用指導を行っている。質問は電話、文書、電子メールでも受け付けている。

回答は、図書だけでなく、インターネット情報源や契約データベース、有用な無料公開のデータベースなどを駆使して行う。担当する図書館員の知識や主観ではなく、必ず資料の裏付けや典拠を示して回答することが基本原則である。

カウンターにきた利用者を待たせないように、レファレンスサービスを迅速・的確に行うためには、情報源となる参考図書やデータベースの内容をよく知っていることが肝要である。また、朝読んだ新聞記事や雑誌の広告が情報源となることもあり、日頃からアンテナを張りめぐらしておくと思いがけないときに役に立つ。

レファレンスサービスをスムーズに行うには、情報源となる参考図書やデータベースの点検・整備をし、最良の状態で維持しておくことが必要となる。そのため、レファレンスサービスを担当する図書館員は、参考図書やデータベースの内容を見比べて評価をしたり、新しい参考図書を受け入れたときは、古い資料は地下書庫に移動することなどを日常的に行っている。

また、利用者が気軽に質問できるように態勢や雰囲気づくり、利用者の質問の意図を明確に把握できるように、コミュニケーション能力やインタビューの知識や訓練も必要となる。

レファレンスの調査過程を記録し蓄積して事例集を作成したり、自館だけでなくインターネット上の事例データベースを参考にすることもある。図書館員の仕事のなかでもレファレンスの担当者には利用者の役に立つことが実感でき、仕事なのに感謝されることも多い。そのためにも、常に研鑽と創意工夫を重ねながら、よりよいサービスを目指していかねばならない。

◆◆◆ 春学期の図書館利用教育計画

春学期中に、次の利用教育を実施します。新入生・ゼミ受講生はクラス単位で受け付けます。

実施対象	実施時期	実施内容・所要時間
新入生	4〜5月	利用案内・検索実習(蔵書・新聞記事・雑誌記事)・館内案内 (90分)
ゼミ受講生	4〜7月	文献探索法・検索実習(データベース・CD-ROM) (90分)
大学院学生	4月	利用案内・文献探索法・データベース紹介・検索実習 (90分)
新任教員	4月	利用案内・研究用図書購入申込み方法・検索実習(蔵書・契約データベース)・館内案内 (90分)



発行 京都産業大学図書館
所在地 〒603-8555
京都市北区上賀茂本山
電話 (075) 705-1446